

【講義の概要】

この科目では、前期の途中まで「布教伝道学」とは何かについての理論を学び、以後、後期終了まで、その学びをもとに、各自、法話原稿を作成し、実演を行う。

〔前期の途中まで〕

まず、布教伝道学とは何かについて、長年その分野の研究をされてきた深川宣暢氏の著『真宗伝道学研究序説』をテキストとして、仏教・真宗における伝道および伝道学の展開、および真宗伝道学の方法についての理論を学ぶ。

〔以後、後期終了まで〕

前期の途中までの学びをもとに、各自、下記の手順によって法話原稿を作成し、原稿にもとづいた法話実演を行い、互いに感想や意見を交換することによって、布教伝道するための方法を身につける。

- ①話したい御讃題を決める。
- ②決めた御讃題をもとに、テーマ（話したいこと）を考える。
- ③御讃題について、その内容をしっかりと領解する。
- ④御讃題の内容を、自分の言葉で表してみる。
- ⑤テーマにふさわしい例話を選び、御讃題とのつながりを考える。
- ⑥話の流れを考えて、法話原稿をまとめる。
- ⑦原稿にもとづいて法話の実演を行う。

【テキスト】

深川宣暢著『真宗伝道学研究序説』（永田文昌堂）

【参考書】

御讃題に関する講義録、法話集など

【自己紹介】

藤澤 信照（ふじさわ しんしょう）

1958（昭和33）年、鹿児島県川内市（現、薩摩川内市）生まれ。

鹿児島大学理学部卒業。行信仏教学院ならびに行信教校卒業後、滋賀県東近江市浄光寺に入寺。その後、龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程修了。

現在、行信教校講師、元布教使課程専任講師、滋賀県東近江市浄光寺住職。

著書

『親によばれてー浄光寺報法話集ー』（響流書房）

仏教讃歌「本願力のめぐみゆえ」解説と味わい（浄光寺）

『『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え』（法藏館）

『本願力回向の救い～「証文類」四法結釈講話～』（一味出版）

共著『大きな字で読みやすい 浄土真宗やわらか法話2』（本願寺出版社）

共著 2018（平成30）年真宗教団連合法語カレンダー『月々のことば』（本願寺出版社）

論文 『行信学報』などに、多くの研究論文を発表

【学生さんへのメッセージ】

行信教校には昭和56年に入学し、滋賀県のお寺に入寺するまで、5年半ほど在籍し、寮生活をしていました。講師ではありますが、皆さん方の先輩でもあります。寮生活、学校生活についてのこと、勉強方法について、気軽にたずねてもらったらうれしいです。

滋賀県のお寺は公共交通機関が不便なところにあるので、毎回、車で約1時間半かけて学校に通っています。お寺のあるあたりは、大阪の町中と違って、自然がいっぱいのところ。機会があったら、ぜひ遊びに来てください。

趣味は音楽。クラシックギター演奏。地域のコーラスの指導もしています。